

平成23年度

西宮市行政方針

行政方針全文を紹介いたします。5面〜7面上段では市の行政方針を、7面下段では教育委員会の行政方針の全文をお知らせします。

文教住宅都市・西宮 さらなる発展へ

私が市長に就任してから9カ月が経過しました。この間、わがまちを愛する「市民力」に支えられながら、「明るく元気な西宮」の実現に向け、全力で取り組んできたところです。

開催、阪急今津線の高架完成など、いくつかの取り組みについて実現できました。さらに、昨年9月に発表されたアサヒビル西宮工場閉鎖の問題については、アサヒビル側に工場閉鎖に伴う諸問題について協議していくとともに、市としても跡地利用について提案することを申し入れるなど、迅速に対処してきたところです。

とりわけ、保育所待機児童対策や公共施設の耐震化・老朽化対策、中央病院のあり方の検討、外郭団体の抜本的な見直し、財政の健全化など本市が抱えるさまざまな課題に対し、積極的に取り組んできました。保育所待機児童の解消に向け、市内にプロジェクトチームを設置し、その対策に取り組んできたことに加え、念願であった平和市長会議への加盟、4年ぶりの阪神甲子園球場での小学校・中学校連合体育大会の



豊かな「市民力」とともに西宮を「魅力あるまち」に

豊かな「市民力」とともに西宮を「魅力あるまち」に。昨年、我が国では、米国のパデュー大学の根岸英一特別教授、北海道大学の鈴木章名教授の二人がノーベル化学賞を受賞したこと、宇宙航空研究開発機構の小惑星探査機「はやぶさ」が7年に及ぶ宇宙の旅を終えて、太陽系の起源を解明する手がかりとなる小惑星の微粒子を持ち帰ったこと、また、サッカー・ワールドカップ南アフリカ大会で、日本代表が他国開催での初

水準で推移するなど、厳しい雇用環境が続いています。地方分権改革の取り組みについて、政府は、昨年6月に「地域主権戦略大綱」を閣議決定し、国と地方の協議の場に関する法律案などの「地域主権関連3法案」の成立を目指しましたが、先の通常国会で継続審議となり、新年度から導入を打ち出している国庫補助金の一括交付金化についても、全国知事会などからさまざまな懸念が寄せられています。

こうした中、昨年に実施された国勢調査では、速報値で48万2790人、5年前の調査と比較して3・75%の増と、兵庫県下の市において最も高い伸び率となりました。このことは、先人の方々が築き上げて来られた成果を礎に、市民の皆さんのまちづくりに対する熱意と不断の努力が実を結び、西宮が「魅力あるまち」と評価された結果であると考えます。市民の皆さんに心から感謝します。

我が国経済の基調については、内閣府が発表した平成23年1月の月例経済報告によりますと、「景気は足踏み状態にあるが、一部に持ち直しに向けた動きがみられる。また、景気の先行きについては、持ち直しが期待される一方で、さらに下押しされるリスクが存在する。」と示されています。

地域経済においても、いまだ回復の動きは弱く、大学卒業予定者の就職内定率が過去最低を記録し、若者の完全失業率が高



北部地域での本格実施が決まった「宮水学園」、生涯学習の場がますます広がります

本年1月に、宮崎県の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されて以降、日本各地で鳥インフルエンザに感染した鶏や野鳥が相次いで発見されています。私たち自治体関係者は、集中豪雨などの自然災害に加え、こうした感染症などへの対応も必要であり、複雑・多様化する危機管理事案への備えを怠ることはできません。

とりわけ、兵庫県事が初代連合長としてリーダーシップを発揮されており、中核市である本市も、県との連携を強めながら、より質の高い行政サービスを、文教住宅都市・西宮のさらなる発展に努めていきます。

新年度の 主要な取り組み

新年度におきましては、時代の潮流を的確に捉えながら、「心温かい行政を執行する」との方針の下、「人によさしく、市民が輝いて暮らせるまち」づくりに取り組んでいきます。

「いきがい・つながり」については、市民一人ひとりが輝いて生きるまちづくりを進めます。男女共同参画を取り巻く制度の変化等に対応するため、「西宮市男女共同参画プラン」の中間見直しを行うとともに、プランの中の「女性に対するあらゆる暴力の根絶」の項目を拡充して「西宮市DV対策基本計画」を策定し、配偶者などによる人権侵害に対応していきます。

芸術・文化振興事業においては、事業全般の検証を行う中で、西宮の顔とも言える阪神甲子園駅について、バリアフリー化と周辺整備を着手するなど駅前空間の整備を進め、安全で快適な都市環境を築いていきます。

スポーツ・レクリエーション活動の推進については、老朽化した中央運動公園野球場の照明の改修にあたり、周辺の公園照明も一体的に整備することで、球場利用者だけでなく近隣住民や公園利用者にとっても安全で快適な施設にしていきます。

この恵まれた環境を、次世代に持続可能な状態で引き継ぐため、環境問題に対する理解を一層深めていくとともに、阪神・淡路大震災で得た貴重な教訓を活かし、災害に強い安全安心なまちづくりを進めます。

西宮は、交通の利便性が高いことに加え、集客力のある商業施設や観光スポット、特色のある産業活動や文化イベントなど、多彩で魅力的な観光資源を有しています。これらを有効活用し、多くの人が西宮を訪れる

で、協働事業提案やプラス・フエスティバル、能楽講座の拡充を図り、フレンドリーな活性化事業や西宮少年合唱団創立50周年記念事業などを実施し、豊かな市民文化の振興を図っていきます。



子どもたちの夢をはぐくむまちに

市民が輝いて暮らせるまちへ

く、たくましく成長するためには、社会全体で一人ひとりの育ちを応援することが必要であると考えます。このため、家庭・地域とも連携しながら教育の質的向上を図るほか、幼稚園保護者負担の公私間格差の是正に着手します。さらに、次代を担う子どもたちの教育環境の整備について、引き続き、学校施設の耐震化などを進めるとともに、小・中学校の空調設備の整備に向け、手法等の調査に取り組みなど、子どもたちの夢をはぐくむ学びのまちをつくりたい。

人権が尊重される社会の実現を目指すとともに、市民一人ひとりの健康を守るため、福祉や医療の充実を図っていきます。現行の市民サービスの水準を極力維持するよう努めるとともに、高齢者や障害のある人への福祉施策を拡充し、年々増加している保育所待機児童の対策に、引き続き積極的に取り組むなど、すべての人にやさしい福祉の心あふれるまちづくりを進めます。

西宮は、交通の利便性が高いことに加え、集客力のある商業施設や観光スポット、特色のある産業活動や文化イベントなど、多彩で魅力的な観光資源を有しています。これらを有効活用し、多くの人が西宮を訪れる

西宮の顔とも言える阪神甲子園駅について、バリアフリー化と周辺整備を着手するなど駅前空間の整備を進め、安全で快適な都市環境を築いていきます。少子高齢化の進展など社会経済状況が大きく変化する中で、すべての市民が住み慣れた地域で、生涯にわたって安心して暮らせるまちづくりが求められています。

人権が尊重される社会の実現を目指すとともに、市民一人ひとりの健康を守るため、福祉や医療の充実を図っていきます。現行の市民サービスの水準を極力維持するよう努めるとともに、高齢者や障害のある人への福祉施策を拡充し、年々増加している保育所待機児童の対策に、引き続き積極的に取り組むなど、すべての人にやさしい福祉の心あふれるまちづくりを進めます。

西宮の顔とも言える阪神甲子園駅について、バリアフリー化と周辺整備を着手するなど駅前空間の整備を進め、安全で快適な都市環境を築いていきます。少子高齢化の進展など社会経済状況が大きく変化する中で、すべての市民が住み慣れた地域で、生涯にわたって安心して暮らせるまちづくりが求められています。